

下水道だより

未来に引き継ぐ下水道 vol.9

令和2年5月16日発行
上下水道管理課
☎237-5811 FAX 237-5819

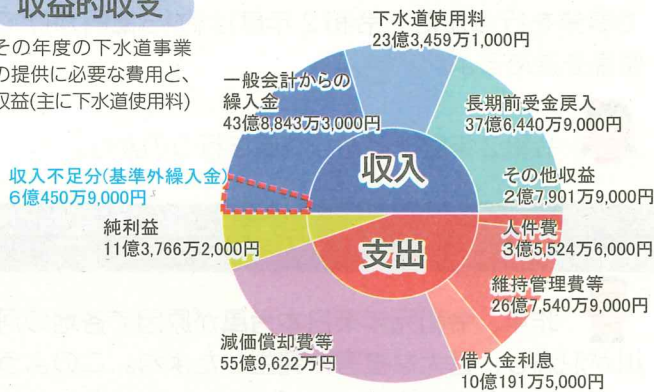
市民の皆さんに津市の下水道事業をもっと知っていただくため、課題や経営状況についてシリーズでお伝えしています。今年4月1日から水道局と下水道局は組織改正を行い、上下水道事業局、上下水道管理局として新たにスタートしました。

今後も下水道だよりでは、津市の下水道の現状について、皆さんにお話ししていきます。

令和2年度公共下水道事業予算

収益的収支

その年度の下水道事業の提供に必要な費用と、収益(主に下水道使用料)



収益的収入	107億6,645万2,000円
収益的支出	96億2,879万円
純利益	11億3,766万2,000円

※税抜き、△はマイナスを表す

汚水収支

収益的収入	87億7,440万9,000円
収益的支出	79億2,987万4,000円

雨水収支

収益的収入	19億9,204万3,000円
収益的支出	16億9,891万6,000円



令和2年度の公共下水道事業の予算が確定したから紹介するね。



昨年10月1日には消費税および地方消費税の税率引き上げと、使用料改定があったけど、使用料収入はいくら増加したの？



下水道使用料の予算額は約23億3,000万円、改定前の令和元年度当初予算と比較すると、約5億7,000万円の収入増を見込んでいるよ。



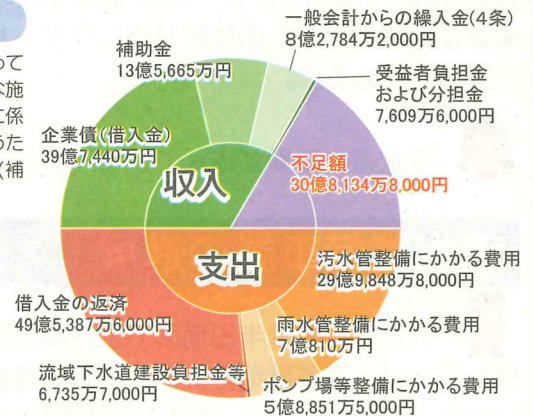
収入が増加した分は何に使われるの？



公共下水道の整備地域の拡大で増加する維持管理費用を賄うために使う予定だよ。

資本的収支

下水道を将来にわたって維持するために必要な施設の整備や拡充などに係る費用と、それを行うための財源となる収入(補助金や借入金)



資本的収入	62億3,498万8,000円
資本的支出	93億1,633万6,000円
収支差引	△30億8,134万8,000円

※税抜き、△はマイナスを表す

汚水収支

資本的収入	48億4,545万1,000円
資本的支出	70億8,580万2,000円

雨水収支

資本的収入	13億8,953万7,000円
資本的支出	22億3,053万4,000円



あれ？使用料収入は増加したけど、収入不足分がまだ約6億円あるね。



使用料は増えたけど、まだ維持管理費用を賄っていないから、令和2年度も税金を財源とした一般会計からの繰入金で補てんする必要があるんだ。だから今後も引き続き経費削減を進めて、不足額を減らしていくんだよ。



借入金の返済の金額はどうなるの？



令和2年度の借入金の返済は利息も合わせて約60億円になるよ。借入残高は約600億円で、今後徐々に減少していく見込みだよ。

令和2年度の主な事業

Q 令和2年度の予算ではどんな事業をする予定なの？

A 収益的支出では、維持管理費として汚水と雨水の管渠の修繕と、ポンプ場や処理場の維持管理をしているよ。

Q じゃあ新しく施設を整備する事業は？

A 資本的支出の汚水処理事業は令和2年度予算が約30億円なんだけど、津市北部を始め、各地で未普及地域解消のために約108ヘクタールの汚水管渠整備を進めるよ。

Q 下水道の整備が進んでいくんだね。最近たく

さん雨が降るけど、その対策は大丈夫？

A 雨水整備事業は、どうしたら浸水被害を少なくできるか、事業をどう効率的に行うかを見直しながら、平成30年3月に策定した「津市雨水管理総合計画」に沿って計画的に事業を進めているんだ。

Q どんな計画なの？

A 計画では令和元年度から10年間(令和10年度まで)に国の補助金を活用しながら約100億円規模で事業を行うんだ。令和2年度は約13億円かけて整備を進めるよ。

Q 令和2年度はどんな整備を行うのかな。

雨水整備事業の進展

A 令和2年度は半田地区で引き続き雨水管の整備をしたり、高茶屋地区でポンプ場の建設を進めたりするよ。今年度から、新たに久居東部地域の浸水や下流の洪水対策を進めるために調整池整備を実施していくよ。

Q いろいろな場所で整備を進めるんだね。

A ほかに芸濃地域では、雨水を分散して排水するバイパス水路を造る事業にも着手するよ。そのほかの地区でも、雨水を排水する事業を進める準備をしているんだ。

Q 雨水整備事業にも力を入れているんだね。

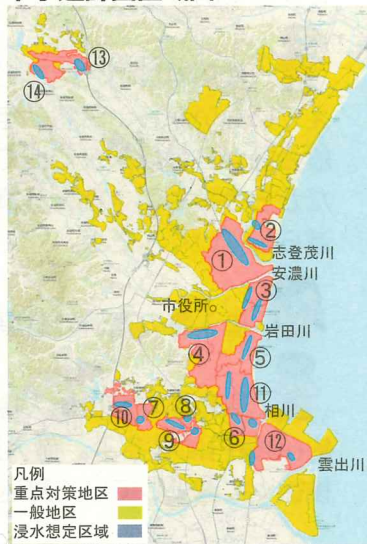
A 昨年、令和元年東日本台風が原因で各地の河川が氾濫し、甚大な被害が発生したよね。このような被害から市民の皆さんの生命・生活を守るために、雨水整備事業は不可欠な事業だから、より一層整備を進めていくよ。

Q 災害時の備えがあると安心だね。

A 「津市雨水管理総合計画」に沿って、雨水整備事業を進めることで、浸水被害の解消を図って安心安全なまちづくりをしていくよ。次回は令和元年度の決算についてお話しするね。



下水道計画区域図



浸水リスクの高い14地区を重点対策地区に選定

重点対策地区	排水区	主な対策
① 上浜	上浜	雨水幹線の切り替え
② 栗真町屋	栗真町屋	雨水幹線の延伸
③ 橋内	橋内東部第二	ポンプ流入改善、準幹線の整備
④ 半田	半田川田	雨水幹線の延伸、ポンプ場整備
⑤ 阿漕	阿漕	面管整備、ポンプ稼働改善
⑥ 高茶屋	天神	ポンプ場整備、雨水幹線整備
⑦ 久居駅西部	北部第一	調整池整備
⑧ 立成小学校周辺	野村第二	早期完了
⑨ 野田池周辺	宮池 野村第一	バイパス水路整備 ため池併用調整池の整備
⑩ 久居IC周辺	射場、明神風早	雨水流出先の分散、局部改良
⑪ 藤方	藤方第二	暫定貯留管の整備
⑫ 雲出	長浜、伊倉津	隣接設備の活用
⑬ 芸濃IC周辺	志登茂川上流第二	排水ルートの見直し
⑭ 椋本地区	安濃川上流左岸第二	流域分割